



No.420

平成30年5月31日

編集発行 富山県教育委員会

発行人 教育企画課長

教委だより



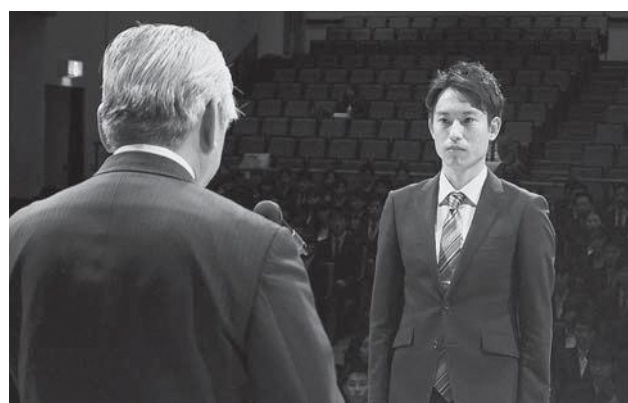
辞令を受け取った柴崎あずみ教諭



訓示する渋谷教育長



宣誓書を読み上げる磯部光志教諭



教育長からの言葉を受ける杉山耕平教諭

新規採用教職員302名に辞令交付

県の新規採用教職員辞令交付式が3月30日(金)に富山県教育文化会館で行われ、302名が教職員としての第一歩を踏みだしました。

式では、代表者の柴崎あずみ教諭(富山市立山室中学校)と杉山耕平教諭(富山南高等学校)が辞令を受け取った後、磯部光志教諭(射水市立東明小学校)が「全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を執行する」と宣誓しました。

渋谷教育長は、教師に大事な要素として、子どもに対する深い愛情、使命感、自己研さんの三つを挙げ、「情熱と慈しみの心を持って、一人ひとりの子どもと向き合い、子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばしてあげて欲しい。」と訓辞しました。

平成30年度 採用状況は次のとおりです。

- 教員 296名(養護教諭6名を含む)
小学校 156名、中学校 66名、高等学校 32名
特別支援学校 42名
- 実習助手 4名 ● 寄宿舎指導員 2名 計302名

Contents (主な内容)

- 就任のあいさつ2p
- 新任課長あいさつ2p
- 平成30年度 指導主事等研修会3p
- 平成31年度 富山県公立学校
教員採用選考検査の実施について3p
- CHANCE! 秋入学～定時制高校～3p
- 平成29年度 学習活動等
全国大会成績優秀者報告会4p
- とやま科学オリンピック5p
- インフォメーション5p
- 総合教育センターNOW6～7p
- 学校レポート
「自己実現を目指すことのできる教育の推進
—地域に根ざした教育活動—」
富山県立となみ東支援学校8p
- リレーエッセイ
「ふるさとの魅力と安心～立山砂防～」
富山県教育委員会 生涯学習・文化財室長
菊池 政則8p

就任のあいさつ



「人づくり」の大切さ

教育次長 布野 浩久

このたび、教育次長に就任しました布野です。微力ではありますが、富山県教育の発展のために尽力してまいります。

さて、本年3月に、新総合計画「元気とやま創造計画ーとやま新時代へ 新たな挑戦ー」が策定され、「活力」「未来」「安心」の3つの基本政策の充実に加え、これらを支える重要政策である「人づくり」が新たに政策に体系化されました。また、県づくりの重要な視点として「社会の変化に対応し、これからの富山県や日本、グローバルな舞台上で活躍できる『人づくり』」が提示されました。

県教育委員会では、「新富山県教育振興基本計画」に基づき、「とやまの新しい教育」を創造し、「真の人間力」を育む、富山県ならではの教育が展開されておりますが、改めて、「人づくり」の大切さを強く感じております。

少子高齢化の進行、人口減少社会の到来、イノベーションの進展など社会の変化や多様なニーズに対応した教育環境の充実を図るとともに、確かな学力の向上、グローバル人材の育成など様々な面で、特色ある教育活動の展開と、家庭、地域、関係団体等が連携した教育がこれまで以上に必要であると考えます。

「百年之計 莫如樹人」(百年の計は人を樹(う)うるに如(し)くはなし)。未来を生きる子どもたちが将来の道を自ら切り拓くことができるよう、努めてまいります。皆様、どうぞよろしくお願いたします。

新任課長あいさつ



教育県富山のさらなる発展に向けて 参事・教育企画課長 津田 康志

教職員課(H22、23)、スポーツ保健課(H25、26)に続き、三度目の県教育委員会勤務となります。この間、教育を取り巻く環境は大きく変化し、教育に対するニーズも一層多様化していることを実感しています。

教育の主役は子どもたちであり、子どもたちの教育環境をソフト・ハードの両面からサポートすることが、教育企画課の役割であると承知しております。

三度、教育行政に携わることができる喜びと責任の重さを肝に銘じながら、教育県富山のさらなる発展に向けて微力ながら努めてまいります。皆様のご協力をよろしくお願いたします。



子どもたちと向き合う時間の確保に向けて 教職員課長 坂林 根則

当課は、教職員の任免、給与、服務、採用に関する事務等を所掌しており、本県の教育を担う組織が、円滑かつ効率的に取り組めるようサポートしていく役割を担っていると考えています。

本県の未来を担う子どもたちの健やかな成長と確かな学力の育成のため、教職員の皆さんがそれぞれのお立場で、これまで以上に子どもたちと向き合える時間を確保することができるよう、甚だ微力ながら、環境づくりに努力してまいりたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いたします。



体、食と健康・安全 保健体育課長 東 瀬 義 人

本課は、学校体育活動の充実と体力の向上、食育・学校給食の推進、学校保健・学校安全の推進といった、子供たちの学習や生活のベースとなる部分を担当しています。

また、教職員の健康増進を図るため、公立学校共済組合富山支部とともに福利厚生事業を展開しています。

各学校において、子供たちを取り巻く課題に即応した指導や実践が、家庭や地域との連携を図りながら行えるよう、微力ながら力を尽くしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

平成30年度 指導主事等研修会 教育長訓示

4月16日（月）、県庁大ホールで「指導主事等研修会」が開催されました。この研修会は、県教育委員会事務局に勤務している教職員が、年度当初に教育長の所信を聴く機会となっています。

渋谷教育長は、「教育現場には課題が山積していますが、これからみなさんと一緒になって、しっかり着実に対応していきたい」と述べるとともに、サッカー日本代表イビチャ・オシム元監督の選手育成の基本的な考え方やモチベーションの上げ方を例に挙げ、教員の責務は「子どもたちが自分で物事を考えることができるようにサポートすること」であり、そうした指導ができる先生方を育てていただきたいと述べました。また、子どもに対しては、「いつも君のことを見ているよとメッセージを送ること」「君たちならできると鼓舞すること」「いつも平等に扱うこと」の3点が大切であると述べました。

さらに、「教師の意識向上」「危機管理」「礼儀作法」の3点について、教職員一人一人に求める姿勢を示すとともに、諸先輩方が築いてきた「教育県富山」の伝統を継承し、さらに発展させてほしいと訓示しました。



平成31年度 富山県公立学校教員採用選考検査の実施について



たくましく生きる力を持った“富山の子ども”をはぐくむため、意欲と情熱を持つ人を求めています。

☆平成30年度 名簿登録状況

	小学校	中学校 高等学校	特別支援 学 校	養護教諭	総 計
受検者数	339	547	45	75	1,006
1 次 合格者数	226	231	29	17	503
名簿登録 者 数	154	123	15	8	300

検査の概要

- 1. 受検区分**
〔一般選考〕と〔特別選考〕（「社会人経験」「教職経験」「特定資格」「国際貢献」「スポーツ実績」「身体障害」）
- 2. 実施要項等の交付**
平成30年5月9日（水）から、県庁正面案内窓口、県内各教育事務所、県内各市町村教育委員会、富山県首都圏本部、大阪事務所、名古屋事務所、富山くらし・しごと支援センター（有楽町オフィス、大手町オフィス）で交付（郵送でも交付する）
- 3. 願書の受付期間**
平成30年5月16日（水）～6月1日（金）
（「簡易書留」による郵送のみで受付。締切日までの消印有効）
- 4. 検査期日**
第1次検査：平成30年7月21日（土）・22日（日）
第2次検査：平成30年8月25日（土）・26日（日）
- 5. 採用予定人数**
300名程度

CHANCE！ 秋入学 定時制高校

平成30年度富山県立高等学校定時制の課程単位制後期入学者選抜について

- 実 施 校** 新川みどり野高等学校、雄峰高等学校、志貴野高等学校、となみ野高等学校
- 志 願 期 間** 9月3日（月）から9月5日（水）までの間、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、9月5日（水）は正午までとする。
- 検査実施期日** 9月12日（水）
- 合格者の発表** 9月14日（金）午後0時30分
- 連 絡 先** 県立学校課 高校教育係 TEL (076) 444-3450 内線4615



平成29年度 学習活動等全国大会成績優秀者報告会

芸術・文化・科学等の様々な分野の学習活動等で活躍している児童・生徒等を顕彰し、功績を称える「平成29年度学習活動等全国大会成績優秀者報告会」を3月26日(月)に県民会館で開催しました。報告会では、各分野の全国大会等で優れた成績を収めた児童・生徒(35個人・11団体)が出席し、石井知事に受賞内容を報告しました。



氏名	学校・学年	大会・コンクール名	成績等
坂林 奏	富山大学人間発達科学部附属小学校1年	第50回手紙作文コンクール はがき作文部門 小学校1年生の部	日本郵便賞
後藤 志歩	射水市立大門小学校2年	第65回統計グラフ全国コンクール	入選
高橋 磨生	富山市立神明小学校2年	第65回統計グラフ全国コンクール	入選
川崎 楓愛	富山市立流星小学校2年	第15回全日本年賀状大賞コンクール ことば部門	文部科学大臣賞
寺 奏多	富山市立芝園小学校3年	第67回全国小・中学校作文コンクール 小学校低学年の部	読売新聞社賞
本吉 花風	富山市立蜷川小学校3年	第35回全国小・中学生作品コンクール 理科部門	日本初等理科教育研究会理事長賞
西 汐音	小矢部市立石動小学校3年	第54回全国児童才能開発コンテスト 作文部門	文部科学大臣賞
田原一斗翔	高岡市立博労小学校3年	第54回全国児童才能開発コンテスト 作文部門	全国都道府県教育長協議会会長賞
山西利亜夢	富山大学人間発達科学部附属小学校3年	第54回全国児童才能開発コンテスト 科学部門	全国都道府県教育長協議会会長賞
亀田 碧海	入善町立桃李小学校4年	第18回「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」小学生高学年の部	海上保安協会会長賞
袋谷 泰生	富山市立新庄北小学校4年	第50回手紙作文コンクール 絵手紙部門 小学校4～6年生の部	金賞
越田 菜月	高岡市立伏木小学校5年	第34回全国児童生徒俳句大会	久留島武彦賞
河上 雫	富山市立呉羽小学校5年	第50回手紙作文コンクール 絵手紙部門 小学校4～6年生の部	文部科学大臣賞
平井 雪穂	富山市立呉羽小学校5年	第50回手紙作文コンクール 絵手紙部門 小学校4～6年生の部	金賞
西島 累世	富山市立奥田小学校5年	第54回全国児童才能開発コンテスト 図画部門	全国都道府県教育長協議会会長賞
城戸口未稀	高岡市立博労小学校6年	第54回全国児童才能開発コンテスト 図画部門	全国連合小学校長会会長賞
島本 真瑚	富山市立五福小学校6年	第54回全国児童才能開発コンテスト 図画部門	日本PTA全国協議会会長賞
本田 美玲	富山市立古沢小学校6年	第50回手紙作文コンクール はがき作文部門 小学校6年生の部	文部科学大臣賞
寺野さとみ	高岡市立南条小学校6年	第32回 WE LOVE トンボ絵画コンクール 小学6年生の部	環境大臣賞
井上 莉里	射水市立片口小学校6年	第36回全日本珠算技能競技大会 第1部 読み上げ暗算部門、フラッシュ暗算部門、総合競技	優勝
小瀬 智哉	入善町立入善小学校6年	シヨパン国際ピアノコンクール in Asia アジア大会 コンチェルトB部門	銀賞
辻野 亜央	富山市立呉羽中学校1年	平成29年度交通安全ファミリー作文コンクール 中学生の部	内閣総理大臣賞
中富 空	小矢部市立石動中学校1年	第63回青少年読書感想文全国コンクール 課題読書 中学生の部	サントリイ 奨励賞
小坂 旺雅	魚津市立西部中学校1年	第54回全国学生書道展 中学の部	大賞
野原 未蘭	富山市立岩瀬中学校2年	第49期女流アマ名人戦全国大会 名人クラス	優勝
		第10回女子アマ王位戦全国大会	優勝
網 竜之介	氷見市立北部中学校2年	第55回中学生作文コンクール	全日本中学校長会賞
水谷 結	氷見市立南部中学校2年	社会を明るくする運動作文コンテスト 中学生の部	優秀賞(全国保護司連盟理事長賞)
吉田八重乃	上市町立上市中学校2年	平成29年度交通安全に関する絵画・作文 絵画の部 中学生の部	国土交通大臣賞
森山 和	富山大学人間発達科学部附属中学校2年	第16回日本ジュニア数学オリムピック	銅賞
石崎 理来	魚津市立東部中学校3年	平成29年度 中学生の「税についての作文」	国税庁長官賞
米田 萌華	高岡市立伏木中学校3年	第63回青少年読書感想文全国コンクール 自由読書 中学生の部	サントリイ 奨励賞
小坂 みく	魚津市立西部中学校3年	第54回全国学生書道展 中学の部	大賞
前田野乃葉	高岡高等学校1年	平成29年度「税に関する高校生の作文」	国税庁長官賞
リトルアニー 清理菜	富山国際大学付属高等学校2年	第47回全日本青少年英語弁論大会 高校の部	優勝
辻 乃々子	高岡工芸高等学校2年	平成29年度高校生の作文コンクール	国土交通大臣賞
柳川 深侑	富山中部高等学校2年	第29回読書感想文中央コンクール 高等学校の部	優秀賞
志摩 彩美	砺波高等学校3年	平成29年度「情報通信の安全安心な利用のための標語」個人・生徒部門	協議会会長賞
高岸 海斗	魚津工業高等学校3年	第48回機械製図検定	特別表彰
黒田 晃平	高岡工芸高等学校3年	第48回機械製図検定	特別表彰
槻尾 祥希	高岡工芸高等学校3年	第48回機械製図検定	特別表彰
		第34回全国製図コンクール 機械系部門	最優秀特別賞
中川 健斗	魚津工業高等学校3年	第34回全国製図コンクール 機械系部門	最優秀特別賞
小西 真央	砺波工業高等学校3年	第34回全国製図コンクール 機械系部門	最優秀特別賞
サンダーバード1号(3名)		WRO Japan 2017大会 レギュラーカテゴリー エキスパート競技 小学生部門	第3位
可西舞踊研究所(3名)		第32回ヨコハマ・コンペティション モダンジュニア1部門	第2位
高岡市立伏木小学校		平成29年度一茶まつり全国小中学生俳句大会 小学校の部	足立区観光交流協会会長賞(第3位)
富山華の会(9名)		平成29年度民謡民舞少年少女全国大会 民謡日本一決定戦 民舞団体の部	優勝
射水市立小杉中学校 吹奏楽部 クラリネット四重奏		2017年第19回日本ジュニア管打楽器コンクール 木管の部 中学生コース	金賞
射水市立小杉中学校 吹奏楽部 フルート三重奏		第41回全日本アンサンブルコンテスト	金賞
坂本 星音、吉野 薫(富山第一高等学校3年)		第17回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会	優勝
Team Axis(3名)		WRO Japan 2017大会 レギュラーカテゴリー エキスパート競技 高校生部門	第3位
富山中部高等学校 スーパーサイエンス部(6名)		第14回高校化学グラウンドコンテスト	文部科学大臣賞
砺波工業高等学校 機械工学部 [Natural] チーム(5名)		第25回全国高校ロボット競技大会	第3位
加賀 侑輝(富山工業高等学校2年)		第25回高校生ロボット相撲全国大会 ラジコン型	経済産業大臣賞
沙 悠輝(富山工業高等学校1年)			
富山工業高等学校 建築工学科(4名)		第8回高校生の「建築甲子園」	優勝

— むずかしいところがおもしろい — ～考えよう 楽しもう 科学の世界～

とやま科学オリンピック

8月4日(土)、9日(木)「とやま科学オリンピック2018」開催!

- 小・中学校部門は、8月4日(土)午前に、4会場(魚津高校、富山中部高校、高岡高校、砺波高校)で開催します。
 - 高等学校部門は、8月9日(木)午前に、富山大学で開催します。
- ①数学、②物理、③化学、④生物の4分野のうち、いずれか1分野の問題に取り組みます。

子どもたちのやる気の後押しをお願いします。詳しい実施内容等については、募集要項や県のホームページをご覧ください。多数の参加をお待ちしています。



昨年度の小学校部門(富山会場)



昨年度の高校部門・生物(富山大会場)

イソフオメーション

📍 場所 📄 内容 👤 対象 👥 募集人数 📄 応募要領
📄 募集締切 📄 参加料 📄 ホームページ 🗨️ 問い合わせ

作品募集 生涯学習・文化財室 ☎076-444-3434
 平成30年度「高志の国文学」情景作品コンクール
 期日 6月1日(金)～9月7日(金)

富山県ゆかりの文学や映画等を鑑賞し、制作した中学生・高校生の作品を募集します。今年は大伴家持生誕1300年を記念した賞を創設し、副賞も充実したものにしています。

①文芸部門(散文・詩・俳句・短歌) ②美術部門 ③写真部門
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/3009/index.html

参加無料 富山県埋蔵文化財センター ☎076-434-2814
 「わくわく古代チャレンジ2018」
 期日 7月26日(木)～8月30日(木)

夏休み期間中、親子で楽しく学ぶ考古学教室です。刀鍛冶体験やまが玉づくり体験などの古代体験を通して、先人の知恵や技を習得します。※6月に募集受付を行います。



刀鍛冶体験

入学生募集 放送大学富山学習センター ☎0766-56-9230
 平成30年度第2学期生(10月入学生)の募集
 期日 9月20日(木) 必着(インターネット出願可)
 ※放送授業開始10月1日(月)

放送大学は、BS放送やインターネットを通じて、希望する科目を1科目から学べる通信制大学です。教員の方が、上位免許や特別支援学校教諭免許状等を取得するために役立つ科目も開講しています。

<http://www.ouj.ac.jp>



開催案内 富山県中学校文化連盟(富山市立速星中学校内) ☎076-466-2125
 第23回富山県中学校文化祭
 (平成31年度全国中学校総合文化祭富山大会プレ大会)
 期日 8月19日(日) 9:00～16:00

富山県民会館・富山県教育文化会館
 無料(見学自由)
 県下の中学生が一堂に会して、日頃の文化活動を発表する中学生の文化祭(美術・郷土芸能・演劇・音楽・新聞・文芸・書道・放送・茶道・科学・意見発表、特別展示の10部門)



平成29年度ステージ発表(吹奏楽)

受講者募集 富山県生涯学習カレッジ ☎076-441-8401
 30周年記念「平成30年度 県民カレッジ夏季講座」
 期日 7月14日(土) 14:30～16:00

テーマ:より豊かな人間性を求めてー知と感性の新たな出会いー
 講師:国際ジャーナリスト モーリー・ロバートソン 氏
 演題:「日本のミカタ・世界のミカタ」
 著書:「挑発的ニッポン革命論」[煽動の時代を生き抜け]他、多数
 富山県教育文化会館 ☎600名(先着順)

7月13日まで。定員に達し次第締切
 1,000円(資料代含む) 高校生以下無料
<http://www4.tkc.pref.toyama.jp/toyama/>



モーリー・ロバートソン 氏

参加者募集 富山マラソン実行委員会事務局 ☎076-444-4102
 富山マラソン2018 ボランティア募集中!
 期日 4月2日(月)～8月10日(金)
 (定員になり次第終了)

ランナー受付、給水、コース沿道ほか
 5,000人
 15歳以上の方(中学生不可)
 ※9月末に説明会を開催
 ※ボランティアウェア、キャップ、QUOカード(500円)を支給



昨年の様子

総合教育センター NOW

科学情報部 小学校教員対象の理科研修のご案内

若手教員研修（初任者研修会、2年次教員研修会）

観察や実験を進めていく上で必要な基礎的・基本的な内容について、初任者研修会では1日、2年次教員研修会では半日の研修を行っています。先生方の経験不足による不安を軽減し、児童と共に理科を学ぶ意欲が高まる研修となるよう心がけています。

【研修内容区分】

- 初任者研修会：「A物質・エネルギー」
- 2年次教員研修会：「B生命・地球」



初任者研修会
「水溶液の性質とはたらき」



2年次教員研修会
「花のつくりの観察」

理科教育講座（実験）知りたい身に付けたい小学校理科実験の基礎・基本

物質・エネルギー・生命・地球の4つの内容区分をそれぞれ半日ずつ割り振り、2日間で全ての内容について研修します。先生方のニーズに応え、ポイントを押さえた分かりやすい観察・実験の方法や身近な材料を使った教材制作の紹介など、要望に応じた内容を多く取り入れ、実践にすぐに生かせる研修となるよう心がけています。

【研修の基本構成】

- 観察・実験において必要な器具の使い方等、基礎的・基本的な知識・技能
- 授業をスムーズに進めるためのポイント
- 工夫や開発した教材及びその活用方法



エネルギー（電流、電圧の測定）

理科教育講座（自然観察）

本研修は、市町教育センターと協業で年間4回、小学校・中学校・特別支援学校の先生方を対象に実施しています。昨年度は6月に氷見市、8月に南砺市と滑川市、10月に朝日町で行いました。

研修内容は学校周辺の動植物や身近な地域に見られる地層、川の様子等の観察です。子供たちを引率しての野外観察のポイントや指導法を現地研修で体験しながら学んでもらうことを趣旨としています。また、職場周辺の地域だけでなく他地域の自然を知り、比較することも児童生徒の指導に役立ちますので、実施地区以外の先生方の参加も大歓迎です。

【本年度の研修】

- 入善町：6月6日（水）
- 上市町：7月31日（火）
- 高岡市：8月22日（水）
- 砺波市：9月28日（金）



「水生昆虫の観察」
（南砺市 遊部大橋付近）

理科実験・観察訪問研修

小学校や特別支援学校等を訪問し、会場校の施設・実験器具をできるだけ使って、放課後や夏期休業中の1時間程度で研修を行います。対象は、市町教育センター、小学校教育研究会及びサイエンスカー訪問活動実施校です。昨年度は、22校（機関）を訪問し、延べ632名の先生方が受講されました。充実した研修になるよう、先生方の要望に沿った内容を心がけています。申し込みは随時受け付けています。

【研修テーマ】

- 授業で使える楽しい教材・ものづくり
- 観察・実験における教材・教具の基本的な扱い
- 教科書の内容と関連する観察実験
- 教科書の実験における不安解消ポイント



「地層の観察方法」
（滑川市 田中小）

教育研修部

平成30年度若手教員研修（初任者研修会）・新規採用教職員研修会

4月4日（高等学校・特別支援学校）・12日（小中学校）・19日（学校栄養職員）の開講式を皮切りに今年度も標記の研修会がスタートしました。当日は、開講式後、研修1「教職員としての自覚と使命1」を実施しました。

本研修では、「学校における人権教育」「教育公務員としての心構え」「教育関係法規の理解と教職員としてのサービス」及び、学校栄養職員は「学校栄養職員の役割と指導」「学校給食の栄養管理と献立作成」について研修を行いました。

講師の先生方からは、体験談を交え、教職員としての具体的な言動の在り方、子供に向かう姿勢等についての話がありました。受講者からは「今後も教育者としての資質や技量を磨き、成長していきたい」「あらためて教師という職の大切さを学んだ。何事にも責任をもった行動を心がけたい」「生徒との信頼関係を築き、保護者からも、地域からも愛される教員になりたい」などの声が聞かれました。



開講式（小中学校）

○ 今後は、次のような研修を行っていきます。



宿泊研修



カウンセリング演習



協力校研修



授業におけるICT活用

教育相談部

本人や保護者、学校関係者からの相談をお受けします

子ども育成

- 富山県内の小学生、中学生、高校生を対象にしています。
- 発達に心配のある乳幼児についても相談をお受けします。
- 電話相談と来所相談があります。
(来所相談は電話での予約が必要です)

特別支援教育

【学校生活等に関する相談】

TEL (076) 444-6167

不登校・学業・進路

- ・登校しぶりがある
- ・学校生活になじめない
- ・進路について悩んでいる

など

【発達に関する相談(特別支援教育)】

TEL (076) 444-6351

発達・学業・就学

- ・言葉が遅れている
- ・勉強についていけない
- ・書くことに時間がかかる

など

相談専用

月・金曜日 : 13:00~17:00

火・水・木曜日 : 9:00~17:00

E-mail : soudan@tym.ed.jp



人間関係・気になる行動・家庭教育

- ・友達ができない
- ・生活態度や習慣が気になる
- ・反抗的である
- ・ゲームに依存している
- ・特定の物や事柄にこだわる
- ・一方的に話す
- ・急に予定が変わるとパニックになる
- ・順番を待つのが難しい

など

など



子供の成長や子育てに悩んでいる保護者がおられましたら、お気軽にご相談ください。

学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

学校レポート

自己実現を目指すことのできる教育の推進 — 地域に根ざした教育活動 —

富山県立となみ東支援学校

富山県立となみ東支援学校には小学部と中学部とがあり、隣接した「富山県立砺波学園」に入所している児童生徒が通っています。その校舎は「となみ野散居村」を見渡すことのできる高台に位置し、豊かな自然に恵まれた環境にあります。「明るく 仲よく 元気よく」をモットーに、将来の社会生活に必要な力や態度を身に付けるために、様々な学習や活動が行われています。特に地域との交流活動が盛んであり、長年にわたり、継続して行われてきました。

近隣の庄東小学校や般若中学校との交流は、30年以上続けられていることから、地元では、親子2世代にわたる交流となっているそうです。お互いの学校を歩き来しての交流や共同学習だけではなく、となみ東支援学校の運動会に、毎年、多数の小学生、中学生がボランティアとして参加し、交流を深めています。

幼児や高齢者など異世代の方々との交流活動として、中学部の生徒が般若幼稚園や老人福祉施設「庄東デイサービス」を訪問しています。交流のための事前学習として、生徒達は、幼児や高齢者との接し方のポイントを学んだり、交流の日のプログラムを考えたりしています。1年生の時は、うまく接することのできない生徒も、2年生、3年生と交流活動を続け、経験を積み重ねることのできるようになるそうです。



地域交流

地域住民との交流活動として、6月、10月に行われた空き缶回収では、生徒達がリアカーを引いて回収に回りました。学校のある福山地区の住民の方から、生徒達に「ごくるうさん。がんばってね。」と温かい言葉をかけていただいた時に、生徒達も「ありがとうございました。」と笑顔で応える場面があったそうです。

地域の方々との交流活動を通して、児童生徒の自ら学び自ら考える力や自主的に取り組む態度を育くみ、地域とともに歩む学校づくりが行われていることを実感できる訪問となりました。



庄東小学校との交流

リレーエッセイ

「ふるさとの魅力と安心～立山砂防～」

富山県教育委員会 生涯学習・文化財室長 菊池 政則

昨年の4月からの一年、実に様々なことがあった。特に、新しく文化財に関わることになり、その量たるや膨大で、毎日毎日、とにかく目先の案件に追われていたように思う。「こんなにもわがふるさと富山に文化財があるのか」と驚かされたと同時に、「こんなにもわがふるさとのことを自分は知らなかったのか」という忸怩たる思いが頭をよぎる。日々まさに生涯学習ということで、とよまの文化財について4月から猛勉強が始まった。世界遺産の五箇山の合掌集落や国宝瑞龍寺、一昨年に世界無形文化遺産に登録された、「高岡御車山祭の御車山行事」「魚津のタテモン行事」「城端神明宮祭の曳山行事」などはさすがに知ってはいたが、4月当初から取り組むことになった、国の登録有形文化財の「本宮堰堤」「泥谷堰堤」のいわゆる「立山砂防」については、ほとんど知識がなかった。かろうじて、「立山砂防」のうち、「白岩堰堤」が、10年ほど前に砂防施設として全国初の重要文化財に指定されたことは知ってはいたが、それ以上は知らなかった。



富山県は、川が多く水が豊富で米どころ、そして酒造りなども盛んであり、ミネラルたっぷりのきれいな水が豊かな魚をはぐくむ富山湾に注いでいる。その反面、三千メートル級の立山連峰や周囲の山々から流れ下る急流は、数え切れないくらいの災害を招いてきた。とりわけ「川でなく滝だ」と言われた常願寺川流域の被害は甚大で、安政期の飛越地震以降は大土石流が富山平野を襲うことになる。それを抑えて安定的に土砂を流出させる仕組みが、この「立山砂防」ということであり、世界に類を見ない防災システムとして世界的な権威の方々や国内の有識者からも高い評価を受けている。

その「立山砂防」の「本宮堰堤」「泥谷堰堤」が先に指定を受けていた「白岩堰堤」とともに、「常願寺川砂防施設」として、昨年の11月に、ついに国の重要文化財指定を受けることとなった。加えて、嬉しいことに、12月には「日本イコモス」から「日本の20世紀遺産20選」の3番目として選定された。これも、完成から約80年経った現在もなお富山県土を安全に守り続けている「立山砂防」が、私達県民に末永く安心を与えてくれる、頼もしい文化財であるからであろう。この「立山砂防」が、今後、世界に発信する「ふるさと富山の大きな魅力」となるであろうことを確信している。

■執筆者プロフィール

高岡市出身 富山県教育委員会小中学校課主幹
富山県立上市高等学校長 高岡工芸高等学校長
を経て 平成29年4月より現職

御意見・感想・学校が元気になるアイデア等お寄せ下さい。

教育長への直通メールアドレス：ml-powerup@pref.toyama.lg.jp